



柔らかい音ですね。反応もすごく良い。楽器によっては、音量の大小で質感が違って演奏しにくい物もありますが、この楽器は音量が変わっても丸い質感は同じです。小さく吹いたときの音もファットでふくよかな感じ。吹奏感も程よくて、抵抗が重くて息を取られることもないし、モニターしやすくピッチも良いです。見た目も何かの真似という感じではなくオリジナルで、この価格だけのことはありますね。ストロークが若干長いですが、吹いていてそんなに気にならないし、キレがある。コンボでソロをとる時でもアンサンブルのセクションでも問題なく使えると思います。僕は日々どうやったらもっと丸く、柔らかい音色にできるか考えています。マウスピースとの相性もありますが、口径があり深いものを使用するとよりファットでダークな柔らかみが出ますね。こういう音を出したいとはっきりしている方だと、この楽器の魅力を最大限に引き出すことができると思います。

BRASS SOUND CREATION TR-501G ●トランペット

価格：703,500円 ●管体：イエロー・プラス、シルク24K金メッキ仕上げ ●ベル口径：4.803" (122mm)  
●ボア・サイズ：0.460" (11.70mm) ●付属品：ハード・ケース  
●問い合わせ：セレクト インターナショナル (047-374-0792)  
<http://www.select-inter.com/>

[プラス・サウンド・クリエーション]

BRASS SOUND CREATION  
TR-501G

高瀬龍一

Ryuichi Takase

Welcome To  
Jazz Horn  
Museum

●高瀬龍一 (tp)

1964年福岡県生まれ。11歳の頃からトランペットを演奏し始め、大学卒業と同時に福原彰氏に師事。福原氏没後結成された「福原彰メモリアル・オーケストラ」に参加し、プロ・デビュー。現在は自己のグループの他、角田健一ビッグバンド、守屋純子オーケストラなどのビッグバンドにも参加し、活動の幅を広げている。また教則本の執筆や講師も務めるなど後進の指導にもあたっている。

<http://home.att.ne.jp/sky/jazzy/>



オール・ハンドメイドによるBSCのフラッグシップ・モデル